

## 2008年秋(9月～11月)の東北地方の天候

- ・ 高温
- ・ 東北北部の少雨
- ・ 東北日本海側の多照

### (1) 2008年秋(9月～11月)の天候

9月と10月に気温が高かったことから、秋の平均気温は高かった。また、高気圧におおわれて晴れの日が多くたため秋の降水量は少なく、特に東北北部で1946年以降最も少なかった。日照時間は東北地方で多く、特に東北日本海側ではかなり多かった。11月の中旬には東北地方の上空に真冬並みの寒気が入ったため、11月は寒暖の変動が大きかった。

秋の台風の発生数は平年より少ない9個(平年11.5個)、本土への接近数は2個(平年2.3個)、上陸数は0個(平年1.1個)だった。

3か月平均気温は東北地方で高い。3か月間降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。3か月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

**9月**：この期間、上旬から中旬にかけて高気圧におおわれて晴れの日が多くたため、東北北部や東北日本海側を中心に少雨、多照となり、東北北部で1946年以降9月として月降水量の少ない方からの1位、東北日本海側で1946年以降9月として月間日照時間の多い方からの1位となった。また、上旬から中旬にかけては寒気の南下が弱く気温は高めで経過したが、下旬にはこの時期としては強い寒気が南下し気温は低くなった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。月間日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。

**10月**：この期間は、寒気の南下が弱く、高気圧におおわれて晴れの日が多くたため、気温は高くなかった。また、低気圧の影響を受けにくかった東北北部では降水量は少なかった。

上旬と下旬には低気圧や気圧の谷、寒冷前線の影響で大雨となることがあった。一方、中旬は移動性高気圧におおわれて晴れの日が続き、少雨、多照となった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

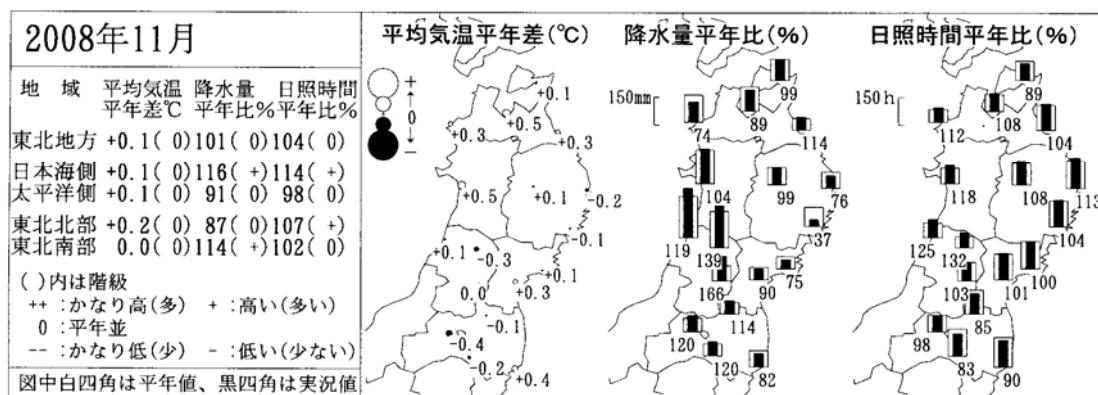
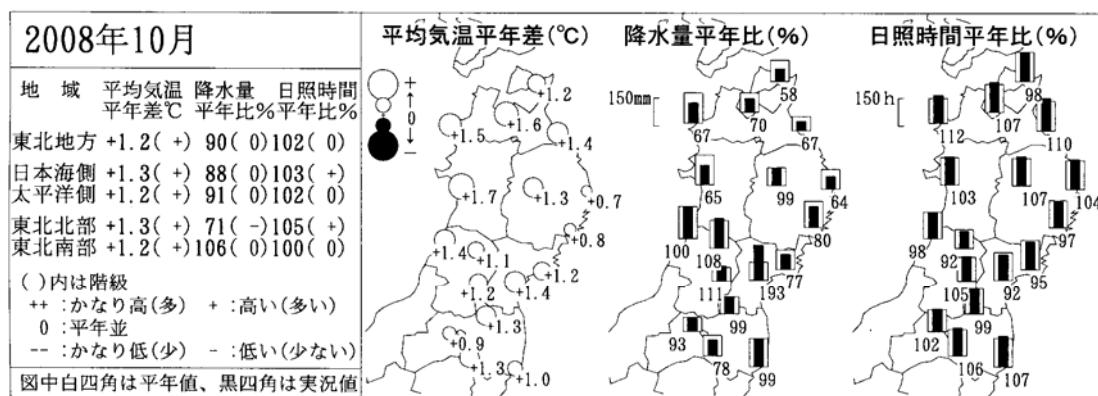
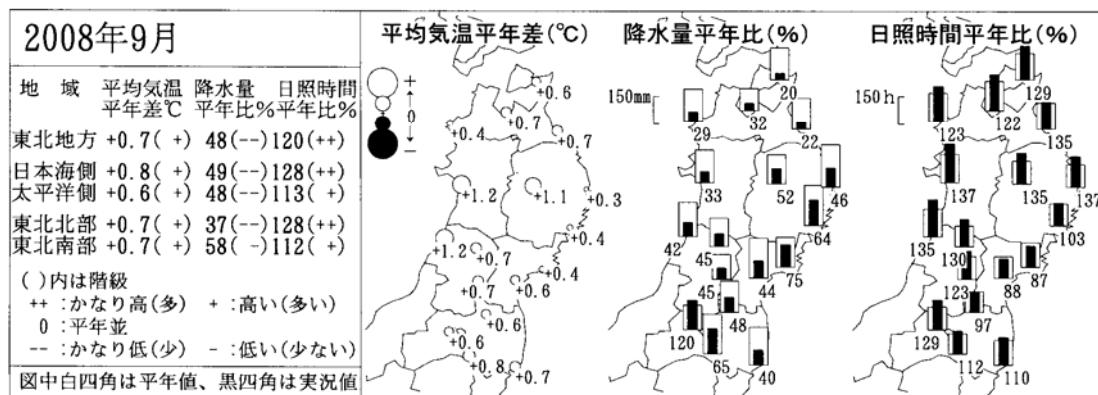
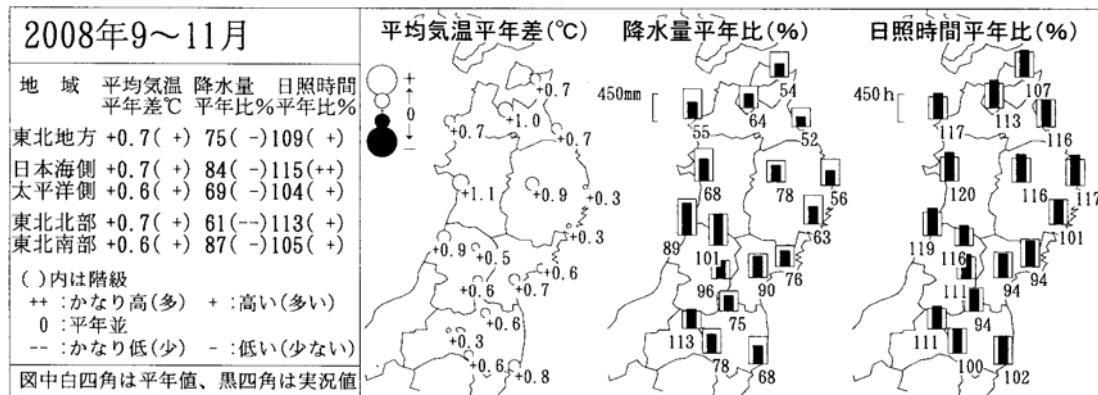
**11月**：この期間、低気圧や気圧の谷、冬型の気圧配置となった影響で曇りや雨または雪となる日多かったが、中旬の前半は高気圧におおわれておおむね晴れた。気温の変動が大きく、特に中旬は、中頃にかけて暖かな高気圧におおわれたことや南からの暖気の影響で、気温の高い日多かったが、その後は真冬並みの寒気が南下し、気温は低くなかった。この寒気の影響により、東北北部や東北日本海側の山沿いを中心に大雪となったところもあった。また、2日には、秋田県で竜巻による被害が発生した。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。月間日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側で79%で平年並、東北太平洋側で99%で多い。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。  
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2008年秋(9月～11月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注) 東北日本海側: 青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方  
東北太平洋側: 青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方  
東北北部: 青森県、秋田県、岩手県  
東北南部: 宮城県、山形県、福島県

(3) 2008年秋(9月～11月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	13.6	( +1.0)	+	230.5	( 64)	—*	36	457.2	( 113)	+
深 浦	14.0	( +0.7)	+	270.5	( 55)	—*	31	422.8	( 117)	+
む つ	12.8	( +0.7)	+	216.5	( 54)	—*	33	437.9	( 107)	+
八 戸	13.4	( +0.7)	+	159.0	( 52)	—*	27	515.2	( 116)	—*
秋 田	14.8	( +1.1)	+	355.0	( 68)	—*	33	465.3	( 120)	—*
盛 岡	12.8	( +0.9)	+	271.5	( 78)	—	34	455.2	( 116)	—*
大 船 渡	14.1	( +0.3)	○	292.5	( 63)	—*	19	409.5	( 101)	○
宮 古	13.4	( +0.3)	○	237.0	( 56)	—*	11	495.9	( 117)	—*
仙 台	15.5	( +0.7)	+	346.5	( 90)	○	26	387.6	( 94)	—
石 卷	14.7	( +0.6)	+	252.0	( 76)	—	19	417.9	( 94)	—
山 形	14.0	( +0.6)	+	280.0	( 96)	○	34	394.8	( 111)	+
新 庄	13.0	( +0.5)	○	504.5	(101)	○	38	323.4	( 116)	—*
酒 田	15.6	( +0.9)	+	517.5	( 89)	—	39	443.0	( 119)	—*
福 島	15.4	( +0.6)	+	247.0	( 75)	—	19	358.9	( 94)	—
若 松	13.7	( +0.3)	○	321.0	(113)	+	31	370.7	( 111)	+
白 河	13.9	( +0.6)	+	305.0	( 78)	—	27	400.0	( 100)	○
小 名 浜	16.8	( +0.8)	+	304.5	( 68)	—*	27	460.9	( 102)	○

(注) 1. 年平均値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い (多い)      ○ : 年平均値      - : 低い (少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には

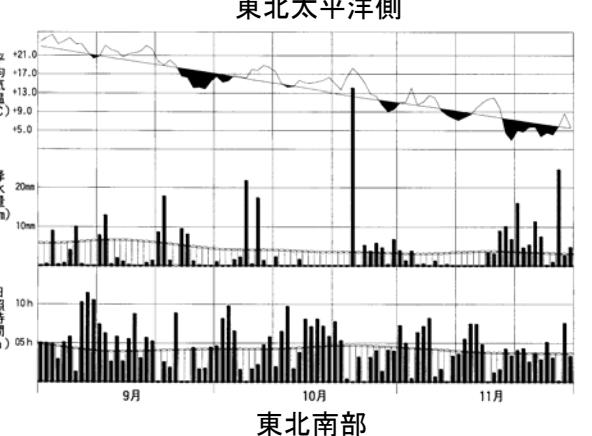
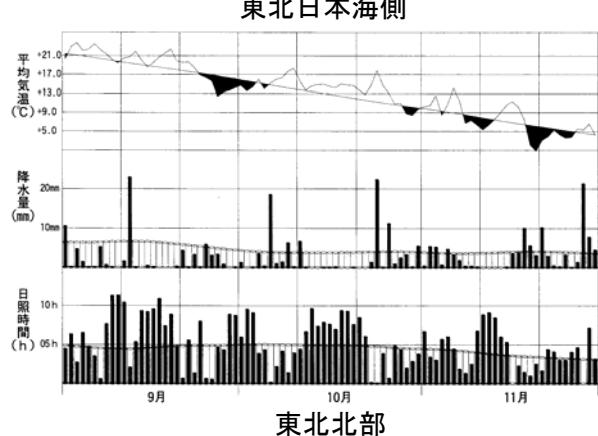
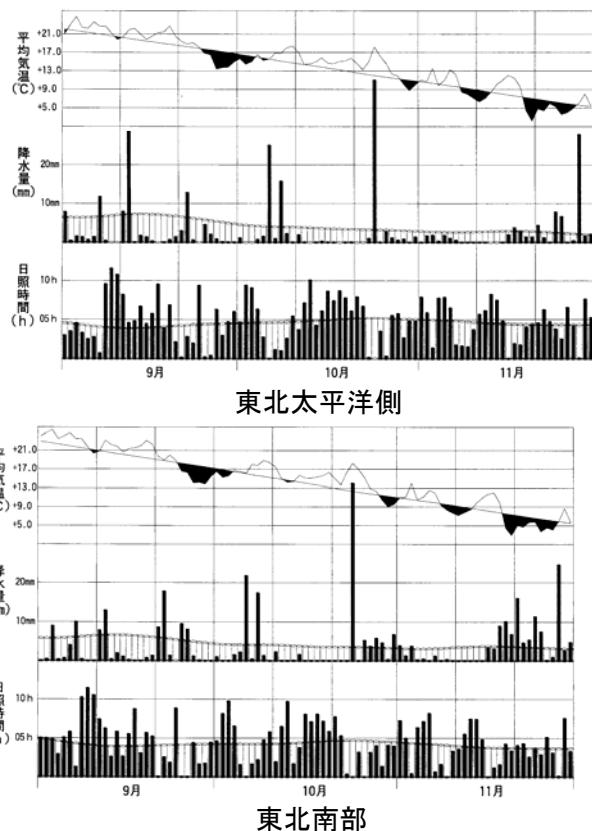
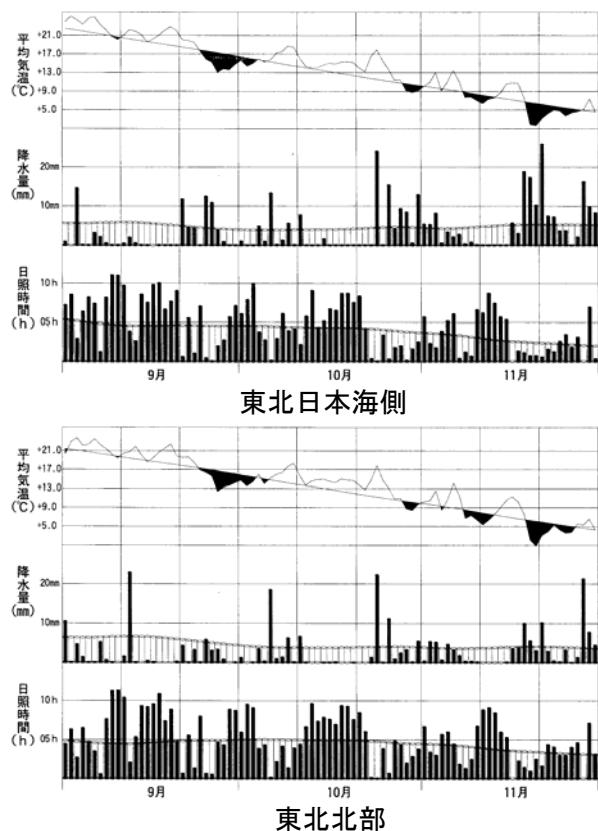
かなり高い (多い)      かなり低い (少ない)

と表現できる。

3. 値の横に ) や ] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計月数（統計に用いた、品質が十分な月別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

#### (4) 2008年秋(9月～11月)の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

#### (5) 2008年秋(9月～11月)の極値・順位更新

(3か月平均気温、3か月間降水量、3か月間日照時間の3位以内のみ)

##### 3か月間降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	深浦	270.5	55	248.0 (1987)	1940	488.7
3	八戸	159.0	52	140.0 (1969)	1937	306.0

##### 3か月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	八戸	515.2	116	538.5 (1982)	1937	443.7

## (6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方、月最深積雪大きい方の1位のみ。)

### 月降水量少ない方からの順位更新

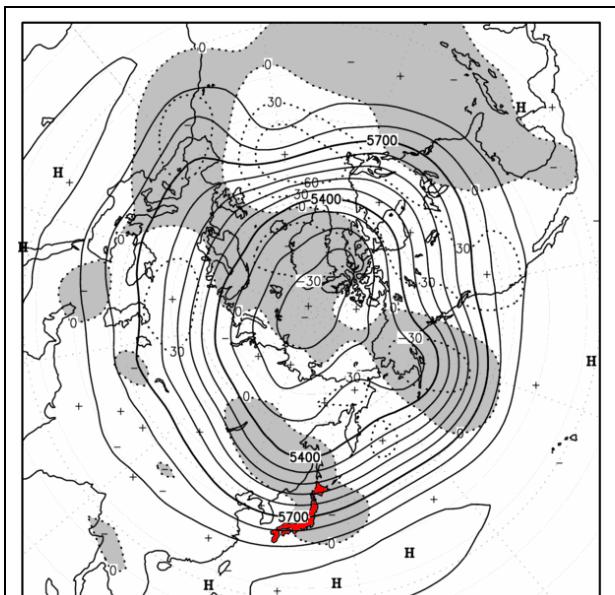
月	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
9月	深浦	50.5	29	59.5 (2002)	1940	176.0
	むつ	35.0	20	47.7 (1963)	1935	172.7
	八戸	37.5	22	47.0 (1970)	1937	167.7

### 降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

月	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
11月	八戸	20	18 (1985)	1953	8

(注) 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

## (7) 北半球の大気の流れ (9月～11月)



9月～11月の平均 500hPa 高度・平年偏差図  
実線は高度(m)、間隔 60m。破線は偏差(m)、間隔 30m。陰影部は負偏差域。

10月を中心に極付近で負偏差が続き、寒気が南下しにくい状況が続いた。日本付近は9月の終わりや11月後半に寒気が入ったことから、北日本では弱い負偏差となっているが、そのほかの時期が高温で推移したため気温は高かった。

(8) 2008/2009年寒候期 季節現象

2008/2009年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初霜			初氷			初雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.11	10.23	×	11.11	10.29	11.19	11.4	11.7	11.15
秋田	11.11	11.6	×	11.20	11.13	11.19	11.19	11.12	11.15
盛岡	11.2	10.18	11.5	11.10	10.24	11.5	11.8	11.8	11.16
仙台	11.27	11.6	11.17	11.27	11.16	11.17	11.20	11.22	11.18
山形	11.2	10.24	11.17	11.2	10.29	11.17	11.19	11.16	11.18
酒田	11.11	11.12	11.20	11.12	11.20	11.19	11.19	11.17	11.16
福島	11.21	11.6	11.17	11.21	11.11	11.17	11.20	11.24	11.18
若松	10.30	10.28	10.24	11.5	11.6	10.24	11.19	11.17	11.18

\* 昨年の青森・秋田の初霜は、積雪によって霜が観測できなかった期間があり、欠測(×)となりました。

初冠雪								
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年
ハッコウダ サン 八甲田山	1584	10.12	10.16	10.13	カ ンド サン 雁戸山	1485	10.30	10.28
イワキ サン 岩木山	1625	10.29	10.15	11.2	リュウザン 瀧山	1362	10.30	10.30
タイハイイザン 太平山	1170	11.9	10.31	11.16	イズミガタケ 泉ヶ岳	1175	11.19	11.6
イワチ サン 岩手山	2038	9.27	10.13	10.15	ザオウザン 蔵王山	1841	10.30	10.23
チョウカイ サン 鳥海山	2236	9.28	10.9	10.13	ア ツマヤマ 吾妻山	1949	10.27	10.21
カツ サン 月山	1984	9.27	10.15	10.22	イイテ サン 飯豊山	2105	9.28	10.17
アサヒ タケ 朝日岳	1870	10.30	10.19	11.13	パンダイ サン 磐梯山	1819	10.30	10.24

注:蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。